

岩盤ボーリング柱状図

調 査 名 〔電子〕「災害対応No.42」井原地区 平成30年7月豪雨災害に伴う
応急対策業務

事 業 ・ 工 事 名 _____

調 査 目 的 及 び 調 査 対 象 砂防 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	Bor-C-2	調査位置	広島市安佐北区大字町井原 神ノ倉山	北 緯	34° 35' 07.2736"
発 注 機 関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成30年 8月10日～平成30年 8月20日	東 経	132° 41' 33.9588"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ ー ー 鑑 定 者		ボーリング責任者			
孔 口 標 高	432.67m	角		方 向	
地 盤 勾 配		鉛 直		使用機種	東邦地下工機D0-D
総 掘 進 長	21.00m	度		エンジン	ヤンマーディゼルフ13-EK
				ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	工学的地質区分名 (模様)	工学的地質区分名	色 調	風 化 の 程 度	変 質 の 程 度	硬 質 の 程 度	割 れ 目 の 形 状	岩 質 の 区 分	コア採取率 → (%) 最大コア長 c m R Q D [%]	記 事	ル ジ オ ン 試 験	孔 内 水 位 / 測 定 日 値	原 位 試 験	室 内 試 験	削 孔 状 況						
																	削 孔 速 度 (cm/min)	削 孔 保 護	コ ア チ ュ ー プ ・ ビ ッ ト	回 転 数 (rpm)	送 水 量 (L/min)	排 水 量 (L/min)	
1	432.47	0.20	CH-SC	砂混り粘土	茶						0.0	GL-0.00~0.20mは、表土。植物片を混入する。					116	シ	0.0	0.0	0.0	0.0	
2	430.37	2.30	S-C	粘土混り砂	茶褐						0.0	GL-0.20~4.70mは、崖錐堆積物。全体的に粘性分を含む。						305	シ	20.0	0.1	0.0	0.0
3			S-C	礫混り砂	茶灰						0.0	GL-2.30~4.70mまで、φ=2~10mm程度の角礫を多数混入する。また、一部に植物根を含む。		8/11				150	シ	10.0	0.0	0.0	0.0
4	427.97	4.70									0.0	GL-4.70mにて、褐色の粘性土を確認した。以深は、岩組織が比較的明確であり、基盤岩との境界と想定される。						270	シ	0.0	0.0	0.0	0.0
5											0.0	GL-4.70m以深は、基盤岩。GL-4.70~18.60mまで、DL~DM級とDH~CL級を繰り返す。		8/20				650	シ	20.0	0.1	0.0	0.0
6					w5				E VI	d		DL~DM級のコアは、全体的に風化が激しく、土砂状を呈す。指圧で容易に変形し、割れ目は不明瞭である。		8/21				200	シ	20.0	0.0	0.0	0.0
7												DH~CL級のコアは、礫状または短柱状で採取される。亀裂が多く、亀裂沿いに風化し、土砂をはさむ。					430	シ	0.0	0.0	0.0	0.0	
8					灰褐				D V	c		GL-8.00m付近にて、酸化した礫層を挟む。すべり面であることが想定される。		8/17				160	シ	20.0	0.1	0.0	0.0
9					w4				D V	c								56	シ	10.0	0.1	0.0	0.0
10					w5				E VI	d								150	シ	20.0	0.0	0.0	0.0
11									D V	c				8/17				70	シ	10.0	0.1	0.0	0.0
12					灰				D V	c		GL-12.00~16.00mを掘削中に、少量の漏水を確認した。						100	シ	10.0	0.1	0.0	0.0
13									D V	c								60	シ	0.1	0.0	0.0	0.0
14									D V	c								100	シ	0.1	0.0	0.0	0.0
15					w5				E VI	d								410	シ	0.0	0.0	0.0	0.0
16					灰褐				D V	c		GL-15.5m付近にて粘土層を確認した。潜在的なすべり面であることが想定される。		8/22				66	シ	20.0	0.0	0.0	0.0
17									E VI	d								90	シ	0.1	0.0	0.0	0.0
18					w4				D V	c								150	シ	0.1	0.0	0.0	0.0
19	414.07	18.60			w3				C IV	CM		GL-18.60mより、CM~CH級の中硬岩~硬岩を確認した。コアは、新鮮かつ硬質で、柱状~長柱状にて採取される。						80	シ	10.0	0.1	0.0	0.0
20					w2				B III	b								150	シ	10.0	0.1	0.0	0.0
21	411.67	21.00			w3				C IV	CM								110	シ	20.0	0.0	0.1	0.0
22																		80	シ	0.1	0.0	0.0	0.0
23																		100	シ	10.0	0.1	0.0	0.0
24																		80	シ	0.1	0.0	0.0	0.0
25																		80	シ	0.1	0.0	0.0	0.0

